



エコアクション21  
登録番号：0010601

# 環境活動レポート

対象期間（平成30年3月～平成31年2月）



双栄基礎工業株式会社

発行日：令和元年5月

# 目 次

1. 組 織 概 要	—————	P1～P2
1) 事業者及び代表者名		
2) 所 在 地		
3) 環境管理責任者		
4) 事業活動の内容		
5) 事 業 規 模		
6) 建設現場等の概要		
7) 組 織 図		
2. 対 象 範 囲	—————	P2
3. 実 施 体 制 図	—————	P3
4. 環 境 方 針	—————	P4
5. 環 境 目 標	—————	P5
6. 環 境 目 標 と そ の 実 績	—————	P6
7. 主な環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容		P7～P8
8. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無	—————	P9
9. 代表者による全体評価と見直しの結果	—————	P9

# 1. 組織概要

## 1) 事業者及び代表者名

商 号 : 双栄基礎工業株式会社

代 表 者 : 若山 圭介

設 立 : 昭和57年4月

資 本 金 : 2,000 万円

## 2) 所在地

: 【本社】

〒160-0023 東京都新宿区西新宿1丁目23番1号  
TK新都心ビル10階・(5階会議室)

: 【東京支店】

〒176-0012 東京都練馬区豊玉北5-29-4  
井門練馬ビル8F

: 【北関東営業所】

〒379-2113 群馬県前橋市下増田町1466番1号

: 【東北営業所】

〒981-0123 宮城県宮城郡利府町沢乙欠下南27番1号

: 【関西営業所】

〒543-0055 大阪府大阪市天王寺区悲田院町8-11  
新和興産ビル3F

: 【川越資材センター】

〒350-0807 埼玉県川越市大字吉田62番1号

: 【技術営業部・メンテナンス事業部】

〒160-0023 東京都新宿区西新宿1丁目23番1号  
TK新都心ビル9階

## 3) 環境管理責任者 : 安全環境部 白木 淳久

連絡先 : TEL 03-5999-5035

FAX 03-5999-5030

## 4) 事業活動の内容

道路や下水道をはじめ公共機関の地盤改良工事  
橋梁・橋脚等の補修工事・アンカー・深礎工事

建設業許可番号 : 国土交通大臣 許可 (特 - 28) 第26566号

## 5) 事業規模

事業期間

(事業年度3月～2月)

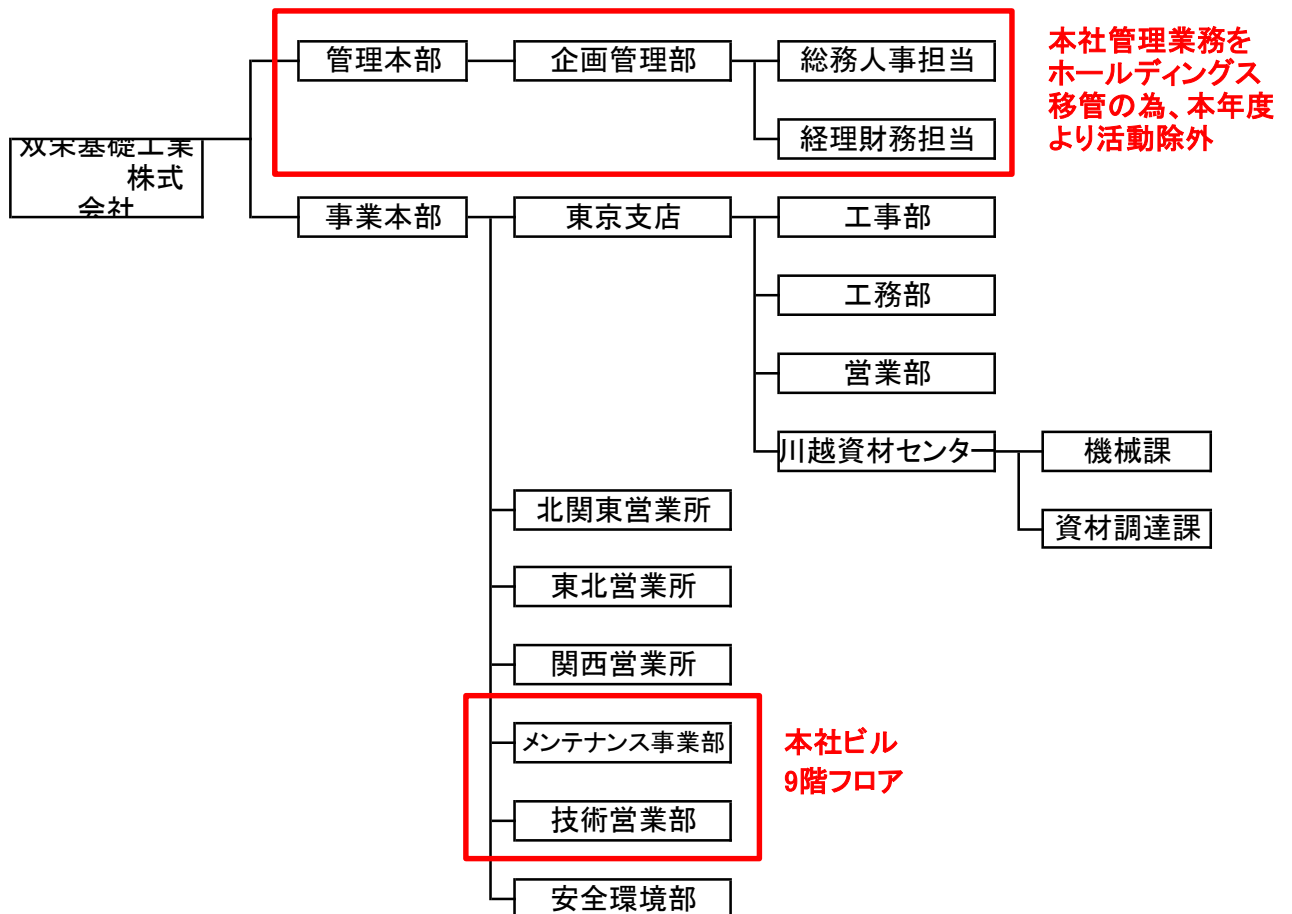
項目	単位	平成30年度	東京支店	川越資材センター	北関東営業所	東北営業所	関西営業所	技術営業部 メンテナンス事業部
売上高	百万円	2,529	—	—	—	—	—	—
従業員数	人	192	128	8	9	20	11	16
床面積	m <sup>2</sup>	701	165	273	40	73	83	67

## 6) 建設現場等の概要

下請工事 : 530件

## 7) 双栄基礎工業株式会社

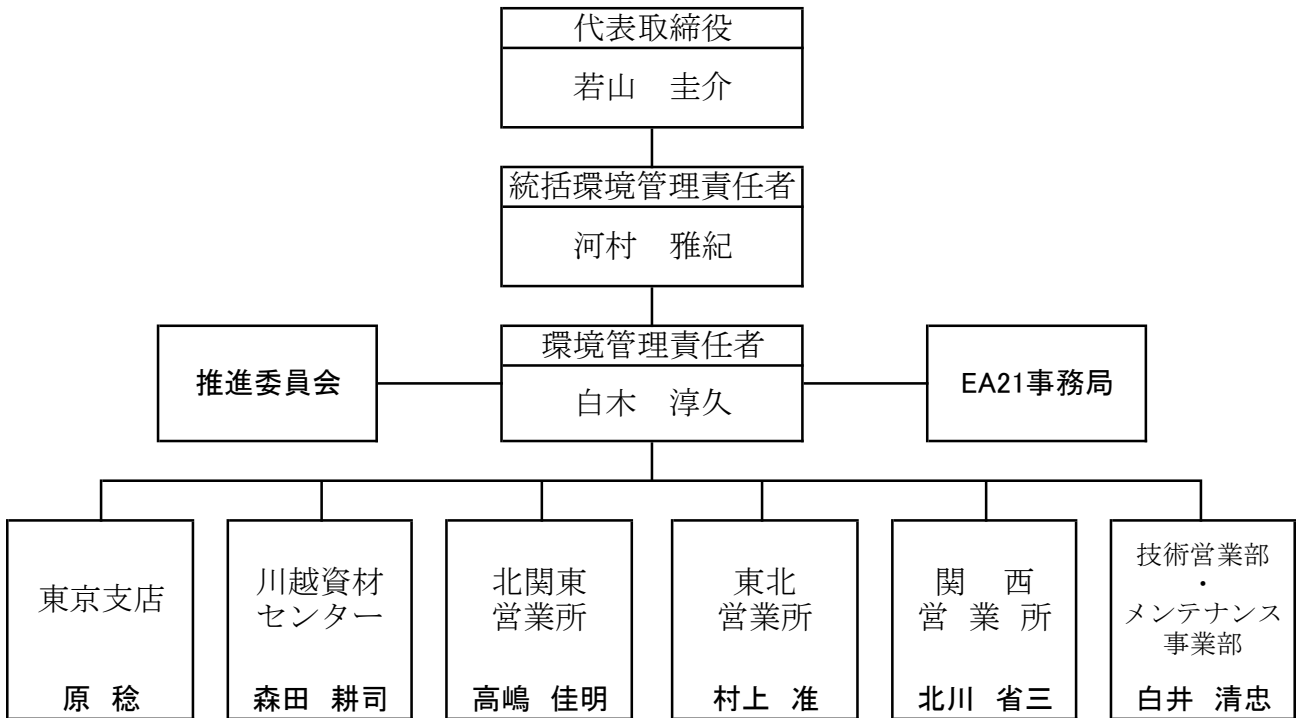
### 組織図



## 2. 対象範囲

双栄基礎工業株式会社 全社

### 3. 実施体制



職名	役割・責任・権限
・代表者 ・代表取締役 若山 圭介	・環境マネジメントシステム執行の責任者 ・環境方針の策定と見直し ・環境マネジメントシステムの見直し ・要員、設備、予算等の資金調達 ・環境管理責任者の任命
統括環境管理責任者	・代表者の命を受け、環境マネジメントシステムを構築する ・環境方針に沿って環境目標を策定する ・環境関連法規等の整備を行う ・外部からの環境苦情対応責任者
環境管理責任者	・統括環境管理責任者の命を受け、環境マネジメントシステムを構築する。 ・EA21事務局の指導。 ・推進委員会をまとめる。
EA21事務局	・環境に関する教育、訓練 ・環境マニュアル、手順書、作成 ・マネジメント情報収集、整理
推進委員会	・組織、横断的委員構成 ・環境項目の取組情報収集及び分析 ・年間環境教育計画案検討
部門責任者	・担当部署EMS実施 ・環境マニュアル、手順書、帳票等の管理 ・教育実施責任者
全従業員	・環境活動の重要性を認識 ・環境教育訓練への参加 ・環境活動計画に基づいた活動の取組 ・環境課題の抽出と報告

## 4. 【環 境 方 針】

### 【基本理念】

双栄基礎工業株式会社は、地盤改良を主体とした土木建設工事を行っています。

地球環境の保全によって生物多様性が、確保される事の重要性とそれらを人類の将来に明るい素材として継承しなければならない責任を認識した環境活動を行い 環境負荷を軽減する事で自然と共生する社会や持続可能な循環型社会の構築を目指します。

### 【環境行動目標】

- 1、二酸化炭素排出量削減
- 2、廃棄物排出量の削減
- 3、環境配慮製品・サービスの提供・共有
- 4、環境関連法の順守

制定日 平成26年8月22日



双栄基礎工業株式会社

代表取締役 若山 圭介

## 5. 環境目標

	項目	単位	基準値（実績）		3年					
					2018年度		2019年度		2020年度	
					削減率（%）	目標	削減率（%）	目標	削減率（%）	目標
本社 （管理本部）	電力使用量 ※	kw	2013年度	2,423	5.3	31,169	本社の管理本部業務を2018年7月よりホールディングス移管の為、2018年度より活動除外			
	水使用量 ※	m <sup>3</sup>	2013年度	60	3.3	134.41				
東京支店	電力使用量	kw	2013年度	21,646	5.3	20,499	5.4	20,477	5.5	20,455
	ガソリン	ℓ	2013年度	174,440	5.3	165,195	5.4	165,020	5.5	164,846
	軽油 ※	ℓ	2013年度	0	5.3	249,212	5.4	248,948	5.5	248,685
	水使用量削減	m <sup>3</sup>	2013年度	137	3.3	132.5	3.4	132.3	3.5	132.2
川越資材 センター	電力使用量削減	kw	2013年度	44,685	5.3	42,317	5.4	42,272	5.5	42,227
	灯油	ℓ	2013年度	1,883	5.3	1,783	5.4	1,781	5.5	1,779
	ガソリン ※	ℓ	2013年度	8,658	5.3	8,199	5.4	8,190	5.5	8,182
	軽油 ※	ℓ	2013年度	8,729	5.3	8,266	5.4	8,258	5.5	8,249
	産業廃棄物排出量削減	t	2013年度	10.90	3.3	10.54	3.4	10.53	3.5	10.52
	水使用量削減	m <sup>3</sup>	2013年度	461	3.3	445.8	3.4	445.3	3.5	444.9
北関東 営業所	電力使用量削減	kw	2015年度	11,837	4	11,364	5	11,245	4	11,364
	灯油	ℓ	2015年度	820	4	787	5	779	4	787
	ガソリン	ℓ	2015年度	6,718	4	6,449	5	6,382	4	6,449
	軽油	t	2015年度	12,093	2	11,851	3	11,730	3.2	11,706
	産業廃棄物排出量 ※	t	2015年度	0.00	2	12.31	3	12.19	3.2	12.16
	水使用量削減	m <sup>3</sup>	2015年度	107	2	104.9	3	103.8	3.2	103.6
東北 営業所	電力使用量	kw	2018年度	14,819	-	13,560	3	14,374	4	13,560
	灯油	ℓ	2018年度	374	-	395	3	363	4	359
	ガソリン	ℓ	2018年度	25,414	-	24,288	3	24,652	4	24,397
	軽油	ℓ	2018年度	37,821	-	36,276	3	36,686	4	36,308
	産業廃棄物排出量	t	2018年度	4.64	-	4.16	1	4.60	2	4.55
	水使用量削減	m <sup>3</sup>	2018年度	72	-	68	1	71.3	2	70.6
関西 営業所	電力使用量削減	kw	2018年度	10,068	-	10,068	3	9,766	4	9,665
	ガソリン	ℓ	2018年度	5,196	-	5,196	3	5,040	4	4,988
	軽油	ℓ	2018年度	208	-	208	3	202	4	200
技術営業 部・メンテ ナンス事業 部	電力使用量	kw	2018年度	7,728	2018年度は本社 管理本部と合計し データ集計した		3	7,496	4	7,419
	水使用量	m <sup>3</sup>	2018年度	65	2018年度は本社 管理本部と合計し データ集計した		1	64.35	2	63.70

・年度表記は、月～月の会計年度と同一期間を適用した。

※従業員増加、事務所面積増加、データ集計追加により目標設定基準値見直し 下記参照

本社 （管理本部）	電力	kw	2017年度実績値	32,913	川越資材 センター	ガソリン	ℓ	2017年度実績値	8,658
	水	m <sup>3</sup>	2017年度実績値	139		軽油	ℓ	2017年度実績値	7,675
東京支店	軽油	ℓ	2017年度実績値	263,159	北関東営業所	産業廃棄物	t	2017年度実績値	12.57

- ・東北営業所・関西営業所の目標値については2018年3月～8月の平均値の12ヵ月分を想定値にし、想定以下を目標とした。
- ・東北営業所・関西営業所の2019年度以降目標値については2018年3月～2019年2月の実績値を基準値とする
- ・本社管理本部のエコアクション活動は、2018年7月より管理本部の従業員及び業務がSOEIホールディングスに移管した為、除外するがデータ収集は継続する。2018年実績値は参考とする。（データ内に9階フロアを含む）
- ・技術営業部・メンテナンス事業部は2018年度までは本社管理本部と合算しデータ収集を行っていたが、2019年度以降は9階フロアを技術営業部・メンテナンス事業部としてエコアクション活動に取組む。

## 6.環境目標の実績

1) 実績及び目標達成状況

平成30年3月から平成31年2月

事業所	項目	単位	目標	実績	目標と実績の差 増減土	目標達成 状況	評価
東京支店	電力使用量削減	kw	20,499	15,749	-4,750	○	不要な照明を極力消しパソコン等の電源は環境責任者が点検した。
	化石燃料使用量削減 ガソリン	ℓ	165,195	122,183	-43,012	○	アイドリングストップを実施した。 HB車への切り替えを推進した。
	化石燃料使用量削減 軽油	ℓ	249,212	312,687	63,475	×	重機使用の工種が増加した。
	水使用量削減	m <sup>3</sup>	132.5	170.2	37.7	×	従業員が増えた。
川越資材センター	電力使用量削減	kw	42,317	27,525	-14,792	○	節電を推進し照明をLEDに計画的に切り替えた。
	化石燃料使用量削減 灯油	ℓ	1,783	271	-1,512	○	暖気の逸走を防ぐため、カーテンを活用し、減少した。
	化石燃料使用量削減 ガソリン	ℓ	8,199	8,729	530	×	若干通勤距離が伸び、使用量が増えた。
	化石燃料使用量削減 軽油	ℓ	8,266	3,901	-4,365	○	資材運搬部の仕事が減少した。
	産業廃棄物排出量削減	t	10.54	27.43	16.89	×	消耗品等の資材の損傷・劣化の有る物を大量に廃棄した為、廃棄量が増加した。
	水使用量削減	m <sup>3</sup>	445.8	530	84	×	繁忙期のため使用車両と自社機の洗浄が、多かった。
北関東営業所	電力使用量削減	kw	11,364	10,298	-1,066	○	節電を推進出来た。
	化石燃料使用量削減 灯油	ℓ	787	218	-569	○	効率的にエアコンを併用し、減少した。
	化石燃料使用量削減 ガソリン	ℓ	6,449	9,791	3,342	×	出張が増え、使用量が増加した。
	化石燃料使用量削減 軽油	ℓ	11,851	13,985	2,134	×	繁忙期に入り、現場数が例年より増加した為、使用量が増えた。
	産業廃棄物排出量削減	t	12.32	5.95	-6.37	○	現場で分別処理出来るものは現場で処理し、廃棄削減に努めた。
	水使用量削減	m <sup>3</sup>	104.9	64	-40.9	○	現場作業用水の使用が無かった。
東北営業所	電力使用量削減	kw	13,560	14,819	1,259	×	冬期寒い日が続き電力の使用が増えた。
	化石燃料使用量削減 灯油	ℓ	395	374	-21	○	ほぼ想定使用量だった。
	化石燃料使用量削減 ガソリン	ℓ	12,552	25,414	12,862	×	遠方の出張が多くガソリンを使用した。
	化石燃料使用量削減 軽油	ℓ	19,272	37,821	18,549	×	繁忙期に入り、仕事量が増えた。
	産業廃棄物排出量削減	t	5.87	4.64	-1.23	○	消耗品等の資材の損傷・劣化の有る物を大量に廃棄した為
	水使用量削減	m <sup>3</sup>	89	72	-17	○	ほぼ想定使用量だった。
関西営業所	電力使用量削減	kw	10,068	10,074	6	×	ほぼ想定使用量だった。
	化石燃料使用量削減 ガソリン	ℓ	5,196	5,232	36	×	ほぼ想定使用量だった。
	化石燃料使用量削減 軽油	ℓ	208	176	-32	○	ほぼ想定使用量だった。
技術営業部 メンテナンス事業部	電力使用量削減	kw	-	7,728	-	-	次年度より基準値とする。
	水使用量削減	m <sup>3</sup>	-	65	-	-	次年度より基準値とする。
本社 管理本部 5階・9階・10階	電力使用量削減	kw	31,169	35,657	4,488	×	従業員増加
	水使用量削減	m <sup>3</sup>	134.41	200	66	×	従業員増加

全社の二酸化炭素排出量は1418t-co2になりました。（電気の排出係数は東京電力0.475、東北電力0.521関西電力0.435）



## 7. 環境活動計画及び取組結果と評価・次年度の取組内容

対象範囲	項目	具体的な取組	取組結果と評価	次年度の取組内容
東京支店	電力使用に伴う CO <sub>2</sub> 削減	①IT関連機器未使用時の省電力推進 ②不要照明消灯の徹底 ③空調管理の徹底	・各個人使用のPCは、未使用の場合電源を確実に切った ・照明機器等不使用時に電源を切る事が、概ねできていた。	・未使用のコピー機の電源は極力切って置く(自動) ・残業時は必要以外の照明は、消す ・ひきつづき室内気温を責任者を決め調整する
	化石燃料 使用量削減	①アイドリングストップの徹底 ②省エネ車への切り換え ③エコドライブの実施	・概ね良好だった。 ・HB車への切り替えを推進した	・ナビを搭載し効率的なコースの選択 ・引き続きエコドライブを推進する・タイヤの空気圧点検の指導
	一般廃棄物 排出量削減	①分別管理の徹底 ②リデュースの推進 ③効率的・効果的な製品の(再)使用可能なもの	・一般廃棄物の分別は、確実にを行った。 ・エコキャップ運動を推進した。 ・コピー用紙は両面を使用するとともにカラーは印刷を控えた。	・リデュースを推進し再使用を心掛ける ・分別しリサイクルを引き続き推進
	水使用量削減	①水道バルブ調整節水 ②洗いの節水表示を行う	・節水に努めた ・個人的教育の実施	・引き続き節水表示を行う
川越資材センター	電力使用に伴う CO <sub>2</sub> 削減	①IT関連機器未使用時の省電力推進 ②不要照明消灯の徹底 ③空調管理の徹底	・昼休憩時の、照明OFFを徹底出来た。 ・出入口に、ビニールカーテンを設置し、冷暖房効率を上げた。	・休憩中は、電源をおとす ・朝のミーティングで喚起する ・省電力型の電球に切替る ・ひきつづき室内気温の調整を行う
	化石燃料 使用量削減	①アイドリングストップの徹底 ②省エネ車への切り換え ③エコドライブの実施	・概ね良好だった。 ・表示を取り付けて推進した。	・ナビを搭載し効率的なコースの選択 ・引き続きエコドライブを推進する・タイヤの空気圧点検の指導
	一般廃棄物 排出量削減	①分別管理の徹底 ②リデュースの推進 ③効率的・効果的な製品の(再)使用可能なもの	・一般廃棄物の分別は、確実にを行った ・エコキャップ運動を推進した ・コピー用紙は両面を使用するとともにカラーは印刷を控えた	・リデュースを推進しゴミにならないものをしようする ・紙コップを再使用品に切り替える
	産業廃棄物 排出量削減	①廃棄物のリサイクル推進 ②リペアの推進	・紙等の分別で有償化した ・現場からの廃棄物を抑制した	・技工の教育し増員を行う。 ・搬入 搬出のチェックを確実にを行う
	水使用量の削減	①水道バルブ調整節水 ②洗いの節水表示を行う	・自社機械が増え洗浄水使用量も増えた	・引き続き節水表示を行う ・機械清掃は、再生水の利用
北関東営業所	電力使用に伴う CO <sub>2</sub> 削減	①IT関連機器未使用時の省電力推進 ②不要照明消灯の徹底 ③空調管理の徹底	・休憩時は、電源を切るようにした。 ・外気の入替等によりエアコンの使用を控えた。	・休憩中は、電源をおとす ・ひきつづき室内気温の調整を行う
	化石燃料 使用量削減	①アイドリングストップの徹底 ②省エネ車への切り換え ③エコドライブの実施	・概ね良好だった。 ・表示を取り付けて推進した。	・ナビを搭載し効率的なコースの選択 ・引き続きエコドライブを推進する・タイヤの空気圧点検の指導
	産業廃棄物 排出量削減	①廃棄物のリサイクル推進	・現場からの廃棄物を抑制した	・技工の教育し増員を行う。 ・搬入 搬出のチェックを確実にを行う
	水使用量の削減	①水道バルブ調整節水 ②洗いの節水表示を行う	・自社機械が増え洗浄水使用量も増えた	・引き続き節水表示を行う ・機械清掃は、再生水の利用

## 7. 環境活動計画及び取組結果と評価・次年度の取組内容

対象範囲	項目	具体的な取組	取組結果と評価	次年度の取組内容
東北営業所	電力使用に伴う CO <sub>2</sub> 削減	①IT関連機器未使用時の省電力推進  ②不要照明消灯の徹底 ③空調管理の徹底	・休憩時は、電源を切るようにした。  ・寒い日が長く続いたので、暖房使用が多かった。	・休憩中は、電源をおとす  ・室内気温の調整を行う
	化石燃料 使用量削減	①アイドリングストップの徹底  ②省エネ車への切り換え ③エコドライブの実施	・概ね良好だった。  ・表示を取り付けて推進した。	・車両の軽量化の推進を図る。  ・暖機運転を、適性に行う。
	産業廃棄物 排出量削減	①廃棄物のリサイクル推進	・現場からの廃棄物を抑制した	・現場で消耗し、廃棄になるものは、現場で処理を要請する。
	水使用量の削減	①水道バルブ調整節水 ②洗い水の節水表示を行う	・工事用水貯水の為、水使用量が増えた。	・機械清掃は、ハイウォッシャーの使用を徹底する。
関西営業所	電力使用に伴う CO <sub>2</sub> 削減	①IT関連機器未使用時の電源オフ推進  ②不要照明消灯の徹底 ③空調管理の徹底	・各個人使用のPCは、未使用の指導  ・照明機器等不使用時に電源を切る事が出来なかった。  ・冷暖房の使用が多かった。	・未使用時自動Off設定  ・管理者へ指導  ・照明機器等不使用時に電源を切る  ・室内気温を責任者を決め調整する
	化石燃料 使用量削減	①アイドリングストップの徹底  ②省エネ車への切り換え ③エコドライブの実施	・概ね良好だった。  ・HB車への切り替えを推進した	・アイドリングストップ運動を推進する。
技術営業部 ・ メンテナンス 事業部	電力使用に伴う CO <sub>2</sub> 削減	①IT関連機器未使用時の電源オフ推進  ②不要照明消灯の徹底 ③空調管理の徹底	・各個人使用のPCは、未使用の指導  ・照明機器等不使用時に電源を切る事が出来なかった。  ・冷暖房の使用が多かった。	・未使用時自動Off設定  ・照明機器等不使用時に電源を切る  ・室内気温を責任者を決め調整する
	水使用量の削減	①水道バルブ調整節水 ②洗い水の節水表示を行う	・節水に努めた。	・水道水の出し過ぎに注意する。
SOEIホールディングス (管理本部)	電力使用に伴う CO <sub>2</sub> 削減	①IT関連機器未使用時の電源オフ推進  ②不要照明消灯の徹底 ③空調管理の徹底	・未使用時自動Off設定した。  ・照明機器等不使用時に電源を切る事が出来なかった。  ・冷暖房の使用時期に使用が多かった。	削減取組から除外したが、次年度以降もデータ収集は継続する。
	水使用量の削減	①水道バルブ調整節水 ②洗い水の節水表示を行う	・節水に努めた。	

## 8. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

当事業所に適用される環境関連法規とその遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

外部からの、指導や苦情、訴訟もありませんでした。

## 9. 代表者による全体の評価と見直し

エコアクション21の取組が、本年度で5年目を迎え、東北営業所と関西営業所が加わり全事業所で取組むことになりました。

今までに取り組んでいる、ハイブリッド車入替による、ガソリン使用量の低減、LEDライト交換による、電力使用量節減を他の事業所にも押し進めて下さい。

今年度の目標達成については、25項目中12項目が未達で、最重要テーマの二酸化炭素排出量も18%増となってしまいました。

原因としましては、従来の工法に比べ、建設重機主体の工法受注が増えた結果であります。また、我社の二酸化炭素排出量の約69%が建設現場から、約28%が通勤車両によって排出されています。ですので、現場で働く作業員一人ひとりが、環境問題やエネルギー問題に対する取り組みが必要と考えられます。既にエコアクション活動に取り組んでいる事業所が先頭に立って、環境責任者と協力し、毎月の全拠点のTVネット会議を通じ、環境に対する意識向上に努めて下さい。

次年度以降も、全従業員一丸となって、自動車のエコ運転運動、建設機械の低燃費運転の周知徹底をしていきましょう。

双栄基礎工業株式会社  
代表取締役 若山 圭介